

【40周年実行委員会】

実行委員長 藤田 瑞夫

所 信

1972年「明るい豊かな地域の創造」を掲げられ、志を高く持たれた先輩諸兄が、この自然豊かな丹波の地に青年会議所を設立されて以来、(社)丹波青年会議所は本年創立40周年のときを迎えることが出来ました。まず初めに永きにわたり多くの先輩達が流された汗と苦労そして涙に対し、あらためて敬意を表したいと思います。また、脈々と引き継がれてきた歴史と伝統をしっかりと引き継がせて頂き、40周年という記念すべき節目の年にメンバー一丸となり新たな次代へ一歩踏み出させて頂く事に心より感謝申し上げます。

現在、全国各地を見ても多くのNPO法人等様々な団体が、いろんな考え方アイデアを持ち、まちづくりを進められています。時代はまさに「青年会議所だからできる」から「青年会議所は何をするのか」へと変化し、公益法人制度の改正に代表されるように、私達の存在意義が大きく問われているように感じます。このような激変する環境の中で、私達もその環境変化を感じとり、時には勇気を持ち、変えるべきものと変えてはいけないものをしっかりと見極め、今まさに全メンバーの誇り高き独自性をもった活動・運動を展開し、青年会議所だからこそできることを目指す必要があると考えます。

私達は40周年を迎え、過去への感謝と未来への熱い想いを盛り込んだ周年記念事業を行なわせて頂きます。その中でまちづくりとこの丹波にあふれる自然、田舎の力という部分を模索しながら、そして少子高齢化という部分にも目をそむけず、経営感覚を取り入れ、持続可能なまちづくりの実現に寄与できるような意識変革のムーブメントを起こしたいと考えています。大々的な事業を行なうことが目的ではなく、私達メンバーは損得勘定ではなく自らの心の中にある単純な「貢献する心」を大切にし、愛する人のため、愛する地域のため、その心を形にするためにJC運動を行ないます。自分達がおじいちゃん、おばあちゃんになった時に「この丹波は最高や、もっともっと長生きしたい」と心の底から思えるようなまちづくりを目指します。

40周年記念式典・祝賀会では、先輩諸兄をはじめ、地域の皆様・行政関係者、各種団体の皆様、各地青年会議所、兵庫ブロック協議会の皆様の支えがあり、40周年を迎えることの出来た感謝の気持ちをメンバー一人ひとりが持ち、心のこもったおもてなしでお出迎えさせて頂きます。

最後になりましたが、40周年実行委員長を与えて頂きました大地理事長をはじめメンバー皆様に心より感謝申し上げます。この節目の年が(社)丹波青年会議所、そして地域のさらなる発展のチャンスと捉え、周年諸事業を通じて全メンバー一致団結し、昨年度兵庫ブロック協議会第43回会員大会主管に引き続き、少しの無理と周りへの大きな感謝がさらに「たくましい丹波JC」になることを信じ一年間邁進して行く所存です。メンバー皆様の熱き友情、御協力よろしくお願い致します。

これから、「丹波の未来」に向けた一歩を皆の力で踏み出しましょう。

基本方針

一、40周年を迎えることのできた「感謝の気持ち」を大切に行動します

一、「貢献する心」でJC運動を行ないます

事業計画

1. 40周年諸事業
2. 5月例会
3. 7月例会
4. 会員拡大への絶対推進
5. 各委員会との連携及び支援
6. 理事長諮問に関する事項